

平成 28 年度分科会テーマ

「出ない(転居)対策」と「来てもらう(転入)対策」

選定理由

- * 地域外の人から住んでもらう対策も必要だが、地域住民が住み続けられる対策も必要である。
- * 公営住宅の柔軟な活用が必要である。
- * モデル棟の有効活用も必要である。
- * 高齢者の共同住宅について、意識改革も含め、改めて検討していかなければならない。

どのような方法があるか



<事務局案>

「山古志地域ふるさと創生基金事業」の活用を念頭において検討してはどうか。

ふるさと創生基金事業とは

○対象事業

- ・ 各支所が行う旧市町村単位の地域振興のために企画する新規ソフト事業
- ・ 合併以前より行われている地域イベント拡充事業

○事業実施団体

- ・ 山古志地域ふるさと創生基金事業実行委員会（実行委員長 小池正瑠）

○実行委員会のスケジュール

～12月 メニューたま出し

1～2月 実行委員会で企画・立案 ← メニュー提案

2～3月 地域委員会の審査・決定